

第13回 かながわ感動介護大賞



大切な妻を支えてくれたみんなへ 感謝をこめて

山本 洋三様

● **感動介護を行った事業所** 社会福祉法人 日本医療伝道会
特別養護老人ホーム 衣笠ホーム

働き者で誰からも頼りにされた妻が認知症になり、デイサービスやショートステイを利用しながら8年間自宅で介護をした。妻の症状が進行する中、毎日の暮らしが幸せである事を二人で感謝しあった日々。

しかし、妻の体調が一変、入院し更に症状が進行、妻は衣笠ホームに入居した。妻は私を待っていて、毎日二人で散歩を楽しんだ。職員さん達は妻と私に笑顔で微笑み「お二人で幸せですね」「どうぞごゆっくり」と声をかけてくれた。妻はその言葉ににっこり、「ありがとう」と応えていた。

正直、妻の入居に葛藤があった。「妻と最期まで一緒にいたい」「大切な妻を家で見てあげたい」「でも、これからは専門家にお願いするしかない」様々な想いがあったが、みんなの優しさの中で妻が笑顔でいてくれることから入居を決断した事は間違いではなかったと確信した。

妻の体調が悪化し、最期の看とりをホームにお願いする事を決めた。「3カ月後に60回目の結婚記念日を迎えるんだよ」と職員さんに話した翌日、面会に行った私と二人の息子。なんと職員さん達が結婚記念日をお祝いしてくれたのだ。部屋を飾り付け、用意してくれた花束と共に家族の為に頑張ってくれた妻への感謝を伝えた。

次の日、妻は天国へと旅立った。愛いっぱいホームで、妻にふさわしい最期の瞬間を過ごし旅立つことができたことに感謝し、衣笠ホームのみんなに心からの「ありがとう」を伝えたい。

